

混合物ID M102-0614
作成日 2025/3/19
改訂日
判定ルール JIS
対応版 GHS 6版

安全データシート (SDS)

化学品の名称 (日本語) パーフェクトブレンド WB 400ml M102-0614/全艶消
供給者の会社名 株式会社キャンディルデザイン
住所 神奈川県川崎市宮前区有馬8-3-11
電話番号 044-863-9112
推奨用途 木部補修
使用上の制限 用途外での使用は禁止

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない (分類対象外)
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	区分1
酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)
自己反応性化学品	区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)
自己発熱性化学品	区分に該当しない (分類対象外)
水反応可燃性化学品	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性液体	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)
有機過酸化物	区分に該当しない (分類対象外)
金属腐食性物質	区分に該当しない (分類対象外)
鈍性化爆発物	区分に該当しない (分類対象外)

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	区分に該当しない (分類対象外)

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	分類できない 分類できない 分類できない
GHSラベル要素	絵表示（ピクトグラム）	
		
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	極めて可燃性の高いエアゾール(H222) 高压容器：熱すると破裂のおそれ(H229) 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷(H314)
	注意書き	
	安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211) 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱後は手をよく洗うこと。(P264) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
	応急措置	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331) 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。(P303+P361+P353) 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 直ちに医師に連絡すること。(P310) 特別な処置が必要である（4. 応急措置を確認）。(P321) 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
	保管	日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)
	廃棄	内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
	備考	

3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物（製品）の区別	混合物
化学物質・混合物（製品）名称	パ-フェクトブ`レンド` WB 400ml M102-0614/全艶消
組成物質（1）	ジメチルエーテル（40-55%）（CAS RN：115-10-6）
組成物質（2）	エタノール（10-25%）（CAS RN：64-17-5）
組成物質（3）	イソプロピルアルコール（2.5-10%）（CAS RN：67-63-0）
組成物質（4）	エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル【ブチルセロソルブ】（1.0-2.5%）（CAS RN：111-76-2）

官報公示整理番号（化審法） エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル【ブチルセロソルブ】（2.5000000%）（CAS RN：111-76-2）；化審法官報整理番号（2-2424）【アルキレン（C=2～8）グリコールモノアルキル（C=2～8）エーテル】；化審法官報整理番号（7-97）【ポリオキシアルキレン（C2～4，8）モノアルキル（又はアルケニル）（C1～24）エーテル（n=1～150）】；化審法官報整理番号（2-407）【ヒドロキシエチルブチルエーテル】
エタノール（25.0000000%）（CAS RN：64-17-5）；化審法官報整理番号（2-202）【エタノール】
イソプロピルアルコール（10.0000000%）（CAS RN：67-63-0）；化審法官報整理番号（2-207）【プロピルアルコール】
ジメチルエーテル（55.0000000%）（CAS RN：115-10-6）；化審法官報整理番号（2-360）【ジメチルエーテル】

官報公示整理番号（安衛法） イソプロピルアルコール（10.0000000%）（CAS RN：67-63-0）；安衛法官報整理番号（2-(8)-319）【2-プロパノール】

備考 成分の正確な割合（濃度）は企業秘密として非公開にされています。

4. 応急措置

吸入した場合 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

備考 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察または手当てを受けること。気分が悪いときは医師に連絡すること。気分が悪いときは、医師の診察または手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 初期火災には乾燥化学薬品、二酸化炭素、または同様のABC消火器を使用してください。火災による熱にさらされた容器の破裂を防ぐために水を使用することができます。

消火活動を行う者の予防措置 火災区域から全員を安全な場所に避難させてください。可能な限り、燃えていない物質を早急に安全な場所に移動させてください。消防士は火を消す際に爆発の危険から保護されるべきです。自己完結型呼吸器（SCBA）と完全な消防用保護服を着用してください。使用後はすべての保護具を徹底的に除染してください。この物質の容器は熱（火）にさらされると圧力が上昇する可能性があります。火災にさらされた容器を冷却するために水スプレーを使用してください。漏れやこぼれが発火していない場合は、水スプレーを使用して蒸気を分散させてください。可燃性液体の流れから発生した火災を、液体の流れが効果的に遮断されるまで消火しないでください。この予防措置は、初期火災が消火された後に爆発性蒸気-空気混合物の蓄積を防ぐのに役立ちます。

備考

6. 漏出時の措置

備考	物質が放出またはこぼれた場合取るべき措置:[7. 取扱い及び保管上の注意]に記載されている個人用保護具の推奨事項に従ってください。個人用保護具の必要性は、このシートに記載された情報と、こぼれた物質、こぼれた量、こぼれた場所、そしてこぼれに対応する従業員の訓練と専門知識を考慮して評価する必要があります。職業上の曝露限界を超えないようにしてください。発火源を遮断してください。電気機器を含む。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い_安全取扱注意事項	使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。
取扱い_接触回避	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
保管_安全な保管条件	日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。
備考	空の容器には製品の残留物や蒸気が残っている可能性があります。容器を加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴あけ、研磨、熱、炎、火花、静電気、その他の発火源にさらさないでください。これらの行動は爆発を引き起こし、怪我につながる可能性があります。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	イソプロピルアルコール (10.000000%) (CAS RN : 67-63-0) ; 日本産業衛生学会 : 許容濃度(ppm)400 (最大許容濃度)、許容濃度(mg/m3)980 (最大許容濃度) エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル【ブチルセロソルブ】 (2.500000%) (CAS RN : 111-76-2) ; 日本産業衛生学会 : 許容濃度(ppm)20 (最大許容濃度)、許容濃度(mg/m3)97 (最大許容濃度)
呼吸用保護具	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
手の保護具	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
目、顔面の保護具	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	透明な液体
臭い	無し～ 非常にわずか
融点・凝固点	未決定
沸点又は初留点及び沸点範囲	未決定
可燃性	燃焼を助ける
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	未決定
引火点	-40.5℃
自然発火点	未決定
分解温度	未決定
pH	未決定
動粘性率	未決定
溶解度	未決定
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	未決定
蒸気圧	未決定
密度及び/又は相対密度	0.805g/cm3
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	通常の条件下では安定しています。
避けるべき条件	該当なし。

危険有害な分解生成物 特定されていません。

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）

区分4:CAS番号:111-76-2(毒性値=470mg/kg 含有率=2.5% 出典:NITE)
区分に該当しない:CAS番号:64-17-5(毒性値=6200mg/kg 含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(毒性値=4384mg/kg 含有率=10% 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)

$ATEmix=(100 - 55) / ((25\% / 6200mg/kg) + (10\% / 4384mg/kg) + (2.5\% / 470mg/kg))$ 計算結果が $3868.495599mg/kg$ のため、区分5に該当。

対象国危険有害性区分補正処理により区分5から区分に該当しないに変更。

毒性が未知の成分を55%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

急性毒性（経皮）

区分3:CAS番号:111-76-2(毒性値=220mg/kg 含有率=2.5% 出典:NITE)
区分に該当しない:CAS番号:64-17-5(毒性値=20000mg/kg 含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(毒性値=12870mg/kg 含有率=10% 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)

$ATEmix=(100 - 55) / ((25\% / 20000mg/kg) + (10\% / 12870mg/kg) + (2.5\% / 220mg/kg))$ 計算結果が $3360.5570465mg/kg$ のため、区分5に該当。

対象国危険有害性区分補正処理により区分5から区分に該当しないに変更。

毒性が未知の成分を55%含有。
毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

急性毒性（吸入：気体）

区分に該当しない:CAS番号:115-10-6(毒性値=164000ppm 含有率=55% 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)

GHS定義による気体ではない。

急性毒性（吸入：蒸気）

※本ツールでは、ppmとmg/lで計算を行います。判定結果はppmを採用します。

急性毒性(吸入):蒸気:ppmでの計算

区分2:CAS番号:111-76-2(毒性値=450ppm 含有率=2.5% 出典:NITE)
区分に該当しない:CAS番号:64-17-5(毒性値=63000ppm 含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(毒性値=27908ppm 含有率=10% 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)

$ATEmix=100 / ((25\% / 63000ppm) + (10\% / 27908ppm) + (2.5\% / 450ppm))$ 計算結果が $15846.0997702ppm$ のため、区分4に該当。

急性毒性(吸入):蒸気:mg/lでの計算

区分2:CAS番号:111-76-2(毒性値=2.03mg/l 含有率=2.5% 出典:NITE)
区分に該当しない:CAS番号:64-17-5(変換値=25mg/l 含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(変換値=25mg/l 含有率=10% 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)

$ATEmix=100 / ((25\% / 25mg/l) + (10\% / 25mg/l) + (2.5\% / 2.03mg/l))$ 計算結果が $38.0007488mg/l$ のため、区分5に該当。

危険有害性情報:H332 吸入すると有害

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	<p>区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)</p> <p>既知の成分がすべて区分に該当しない（分類対象外）のため、区分に該当しない（分類対象外）に該当。</p> <p>毒性が未知の成分を37.5%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しない（分類対象外）から分類できないに変更。</p>
皮膚腐食性／刺激性	<p>区分2:CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE) 区分に該当しない:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)</p> <p>加算方式が適用できる成分からの判定: (区分1+1A+1B+1C)×10+区分2の成分合計が2.5%であり、濃度限界(1%)以上のため、区分3に該当。</p> <p>対象国危険有害性区分補正処理により区分3から区分に該当しないに変更。</p> <p>毒性が未知の成分を62.5%含有。 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<p>区分2:CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE) 区分2A:CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE) 区分2B:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)</p> <p>加算方式が適用できる成分からの判定: 10×(眼区分1+皮膚区分1)+眼区分2A+眼区分2B+眼区分2の成分合計が37.5%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。</p> <p>毒性が未知の成分を62.5%含有。</p> <p>危険有害性情報:H319 強い眼刺激</p>
呼吸器感作性	<p>区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)</p> <p>データ不足のため分類できない。</p> <p>毒性が未知の成分を100.0%含有。</p>
皮膚感作性	<p>区分に該当しない:CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE) 区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。</p> <p>毒性が未知の成分を97.5%含有。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
生殖細胞変異原性	<p>区分に該当しない（分類対象外）:CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:) 分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)</p> <p>データ不足のため分類できない。</p> <p>毒性が未知の成分を100.0%含有。</p>

発がん性

区分に該当しない(分類対象外):CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)
区分1A:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE)

CAS番号:64-17-5が25% \geq 0.1%のため、区分1Aに該当。

毒性が未知の成分を75.0%含有。

危険有害性情報:H350 発がんのおそれ

生殖毒性

区分2:CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)
区分に該当しない(分類対象外):CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
分類できない:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)
区分1A:CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE)

CAS番号:64-17-5が25% \geq 0.3%のため、区分1Aに該当。

毒性が未知の成分を62.5%含有。

分類に寄与しない成分:

CAS番号:111-76-2(区分=区分2 含有率=2.5% 出典:NITE)

危険有害性情報:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

生殖毒性・授乳影響

区分に該当しない(分類対象外):CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
データなし:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)

データ不足のため分類できない。

毒性が未知の成分を100.0%含有。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分3:CAS番号:115-10-6(含有率=55% 臓器=麻酔作用 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 臓器=気道刺激性 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 臓器=麻酔作用 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=気道刺激性 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=麻酔作用 出典:NITE)
区分に該当しない(分類対象外):CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
区分1:CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=中枢神経系 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=全身毒性 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=血液系 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=呼吸器 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=肝臓 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=腎臓 出典:NITE)

区分3(麻酔作用)の成分合計が82.5%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。
区分3(気道刺激性)の成分合計が35%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。

CAS番号:67-63-0が10% \geq 10%のため、区分1(中枢神経系)に該当。

CAS番号:67-63-0が10% \geq 10%のため、区分1(全身毒性)に該当。

CAS番号:111-76-2が2.5% \geq 1%のため、区分2(血液系)に該当。

CAS番号:111-76-2が2.5% \geq 1%のため、区分2(呼吸器)に該当。

CAS番号:111-76-2が2.5% \geq 1%のため、区分2(肝臓)に該当。

CAS番号:111-76-2が2.5% \geq 1%のため、区分2(腎臓)に該当。

区分3:気道刺激性,区分2:呼吸器を区分2:呼吸器系に統合。

毒性が未知の成分を7.5%含有。

危険有害性情報:H370 中枢神経系の障害

危険有害性情報:H370 全身毒性の障害

危険有害性情報:H371 呼吸器系の障害のおそれ

危険有害性情報:H371 血液系の障害のおそれ

危険有害性情報:H371 肝臓の障害のおそれ

危険有害性情報:H371 腎臓の障害のおそれ

危険有害性情報:H336 眠気又はめまいのおそれ

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2: CAS番号:64-17-5(含有率=25% 臓器=中枢神経系 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=脾臓 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=呼吸器 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=肝臓 出典:NITE)
区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
分類できない: CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)
区分1: CAS番号:64-17-5(含有率=25% 臓器=肝臓 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 臓器=血液系 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 臓器=血液系 出典:NITE)

CAS番号:64-17-5が $\geq 25\%$ のため、区分2(中枢神経系)に該当。
CAS番号:64-17-5が $\geq 25\%$ のため、区分1(肝臓)に該当。
CAS番号:111-76-2, CAS番号:67-63-0が $\geq 12.5\%$ のため、区分1(血液系)に該当。
CAS番号:67-63-0が $\geq 10\%$ のため、区分2(脾臓)に該当。
CAS番号:67-63-0が $\geq 10\%$ のため、区分2(呼吸器)に該当。
CAS番号:67-63-0が $\geq 10\%$ のため、区分2(肝臓)に該当。

区分2:67-63-0（肝臓）は、上位区分の区分1:64-17-5（肝臓）へ纏めた。

毒性が未知の成分を62.5%含有。

危険有害性情報:H373 長期にわたる又は反復ばく露による肝臓, 血液系, 中枢神経系, 脾臓, 呼吸器の障害のおそれ

誤えん有害性

動粘性率:不明

区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)

分類できない: CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE)

GHS定義による固体、液体ではない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）

区分に該当しない: CAS番号:115-10-6(含有率=55% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 毒性値（魚類）=11200mg/l 毒性値（甲殻類）=5463mg/l 毒性値（藻類）=1000mg/l 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 毒性値（魚類）=100mg/l 毒性値（甲殻類）=1000mg/l 毒性値（藻類）=1000mg/l 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 毒性値（魚類）=116mg/l 毒性値（甲殻類）=130mg/l 毒性値（藻類）=なし 出典:NITE)

区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号:なし(含有率=7.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 出典:)

方式1:

加算式

魚類: $35\% / ((10\% / 100\text{mg/l}))$

計算結果=計算値:350mg/l、分類区分:区分に該当しない

加算法

魚類:(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。

方式2:

加算式

$37.5\% / ((10\% / 100\text{mg/l}))$

計算結果=計算値:375mg/l、分類区分:区分に該当しない

加算法

(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。

方式3:

加算法

(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。

方式1=区分に該当しない、方式2=区分に該当しない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。

水生環境有害性 長期（慢性）

毒性が未知の成分を7.5%含有。

区分に該当しない: CAS番号:115-10-6(含有率=55% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:NITE), CAS番号:64-17-5(含有率=25% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=9.6mg/l 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=有 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=100mg/l 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=有 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=有 出典:NITE)

区分に該当しない（分類対象外）: CAS番号:なし(含有率=7.5% 毒性値（魚類）=なし 毒性値（甲殻類）=なし 毒性値（藻類）=なし 急速分解性=不明 出典:)

方式3:

加算法

(毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分1)+(10 \times 区分2)+区分3が0%であり、濃度限界（25%）未満のため、区分に該当しないに該当。

方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分に該当しないに該当。

毒性が未知の成分を7.5%含有。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

オゾン層への有害性 分類できない: CAS番号:64-17-5(含有率=25% 出典:NITE), CAS番号:67-63-0(含有率=10% 出典:NITE), CAS番号:111-76-2(含有率=2.5% 出典:NITE), CAS番号:なし(含有率=7.5% 出典:)
データなし: CAS番号:115-10-6(含有率=55% 出典:NITE)

データ不足のため分類できない。

備考

13. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 内容物/容器を...に廃棄すること。内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

残余廃棄物（化学品） 廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する

汚染容器及び包装 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

備考

14. 輸送上の注意

国際規制
国内規制がある場合の規制
情報

海上規制情報

航空規制情報

陸上規制情報

緊急時応急措置指針番号*
* 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」（一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている（発行元：日本規格協会））に掲載されている。

備考

15. 適用法令

労働安全衛生法 エタノール（25.000000%）（CAS RN：64-17-5）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（令別表第9の61）【エタノール】；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の205）【エタノール】
エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル【ブチルセロソルブ】（2.500000%）（CAS RN：111-76-2）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（令別表第9の79）【エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）】；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の266）【エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）】；不浸透性保護具使用義務物質【エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）】、区分【皮膚吸収性有害物質】
イソプロピルアルコール（10.000000%）（CAS RN：67-63-0）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（令別表第9の494）【プロピルアルコール】；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の1780）【プロピルアルコール（アルキル基の異性体を含む。）】
ジメチルエーテル（55.000000%）（CAS RN：115-10-6）；ラベル表示・SDS交付義務対象物質（規則別表第2の1011）【ジメチルエーテル】

化学物質排出把握管理促進法 エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル【ブチルセロソルブ】（2.500000%）（CAS RN：111-76-2）；第一種 政令番号（1-077）管理番号（594）【エチレングリコールモノ-ブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）】

その他の国内法令

エタノール (25.0000000 %) (CAS RN : 64-17-5) ; 大防法・揮発性有機化合物 (VOC) (法第2条第4項) 【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)】 ; 消防法・危険物 類別性質【第4類引火性液体】、品名【アルコール類】
イソプロピルアルコール (10.0000000 %) (CAS RN : 67-63-0) ; 大防法・揮発性有機化合物 (VOC) (法第2条第4項) 【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)】 ; 消防法・危険物 類別性質【第4類引火性液体】、品名【アルコール類】
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル【ブチルセロソルブ】 (2.5000000 %) (CAS RN : 111-76-2) ; 大防法・揮発性有機化合物 (VOC) (法第2条第4項) 【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)】 ; 消防法・危険物 類別性質【第4類引火性液体】、品名【第二石油類】

備考

16. その他の情報

備考

[免責]

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。